

サステナビリティマネジメント

サステナビリティ方針

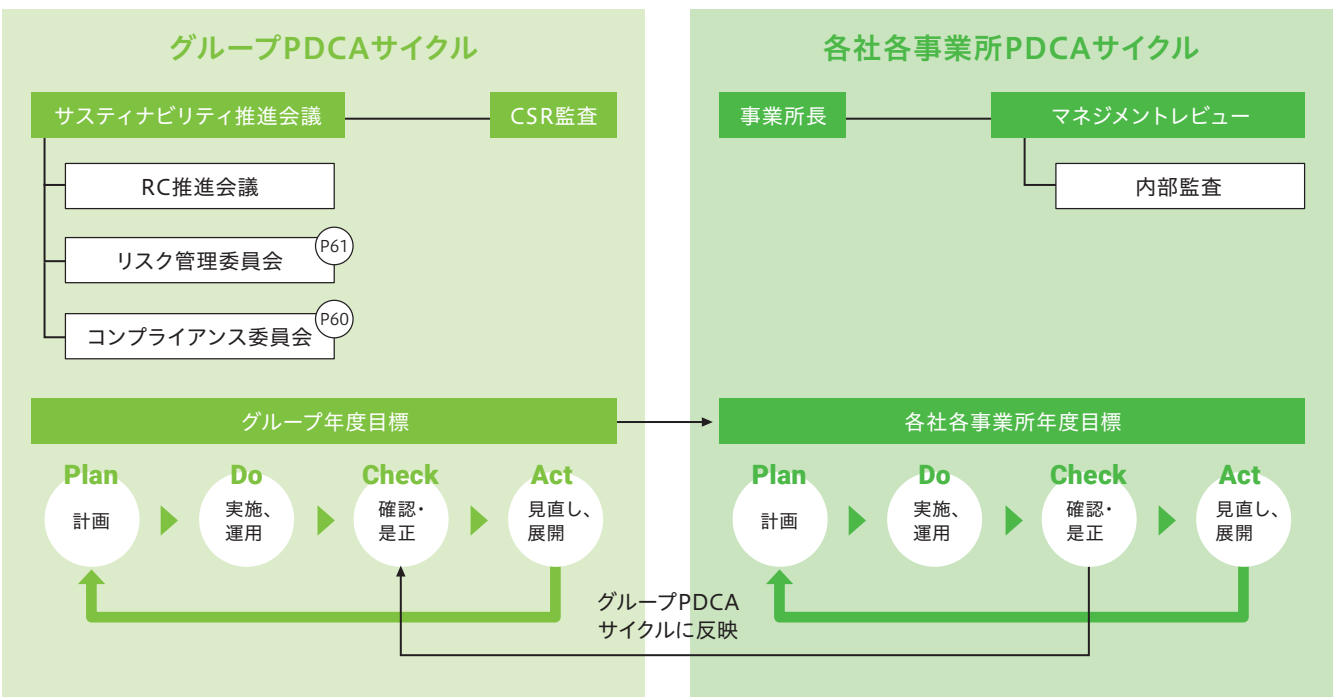
未来の子供たちに幸せが届くよう、
新しい価値創造に挑戦します

当社グループでは、サステナビリティ方針に則り、ISO 環境・品質マネジメントシステムの改善の仕組み（PDCA サイクル）を運営することで、CSR 活動の継続的改善を推進しています。

グループの方針・目標に基づき、各社はそれぞれの方針・目標を立てます。これを踏まえ各社各事業所はそれぞれの

実行計画を策定し、活動の推進、振り返りを行います。

グループ全社では、各社各事業所の CSR 活動の実施状況、方針・目標の達成状況を総括的に把握し、改善を進めるため、サステナビリティ推進会議、CSR 監査、RC 推進会議を実施しています。



▶ サステナビリティ推進会議

グループ全体のCSRにかかる取組みの維持・向上を図るため、方針・目標・計画などを審議・決定する会議体です。

▶ RC推進会議

各社各事業所におけるRC活動の状況を包括的に振り返り、次年度のRC活動の展開について討議する会議体です。

▶ CSR監査

サステナビリティ推進会議の開催に先立ち、議長から委嘱された監査責任者が各社各事業所のCSRの取組み状況を確認するもので、監査の結果をサステナビリティ推進会議で報告します。

社会変化に伴うリスクと対策

当社グループは、様々な事業上のリスクをはじめとしたあらゆるリスクについて、各リスクに該当する部門がリスク発生の可能性を十分に認識し、当社グループの経営成績および財政状態への影響を最小限に抑えるべく、関係各所と連携し、適切な対応に努めています。

その中でも、当社経営に重要な影響を及ぼす可能性があるとして認識している主要なリスクを以下に示しています。

2021年は、新型コロナウイルス感染拡大防止策の推進や、二酸化炭素排出量削減に向けたロードマップ作成等の取り組みを行いました。

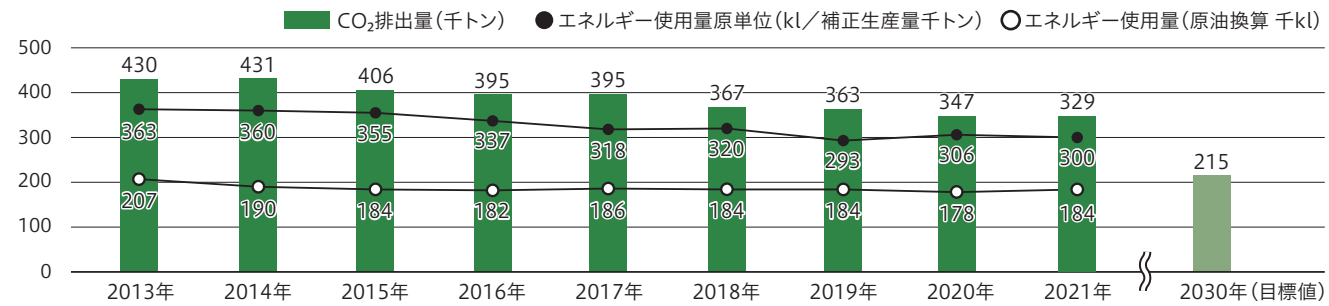
想定されるリスク	具体例	対応策
自然災害の発生	地震、気候変動(台風、豪雨)等	耐震工事、定期防災訓練、保険加入
事故の発生	火災、爆発、化学物質の漏えい等	自動停止装置の設置、設備新設・変更時の防災会議開催、防災訓練の実施、保険加入
市場ニーズの変化、競争激化	需要環境の変動、代替素材の登場等	中期経営計画「Stage up for the Future」による高付加価値製品事業の拡大
法令違反および税制・法制度改革、規制緩和・強化、貿易制限等	各種法令に関する違反・訴訟、課徴金の発生等	担当部門の体制整備、コンプライアンス委員会による監督・調査
固定資産の減損	収益性の低下、市場価格の下落等	設備投資前の採算精査
製造物責任、リコール、品質不良等	品質不良に起因する損害、当該製品の販売減少等	品質検査体制の整備、生産物賠償責任保険加入
情報漏えい	関係者による情報漏えい、サイバーテロ等	取引先関係者との秘密保持契約、従業員への教育、情報セキュリティ対策
原燃料、資材等の高騰、原油・ナフサ価格の変動	製造コスト上昇、評価損失の発生等	価格フォーマーに基づく製品価格の是正・合理化
感染症・伝染病	新型コロナウイルス・インフルエンザ等による物流・操業活動の制限等	消毒液等の設置、テレワーク環境の整備、「新型コロナウイルスに関する行動指針」の策定
原燃料供給の停止、サプライチェーンの切断	調達先の事故等による操業停止等	複数購買の実施、調達先との継続的な関係構築
環境汚染、サステナビリティの要請	土壌・大気・水質汚染、二酸化炭素排出量抑制に向けた社会的要請等	エネルギー使用量・環境負荷物質の削減、サステナビリティ推進会議を中心とした対策推進
為替の変動	円安による費用増加等	外国通貨による輸入支払充当
株式相場の変動	保有株式の大幅な損失等	株式保有効果等の検証・報告、株式の売却

Environment(環境)

地球温暖化防止

P	D	C	A
2021年の目標	2021年の主な実績	達成状況	2022年の目標
CO ₂ 排出量中長期目標(Scope1+2) ●2030年までに2013年度から50%削減 ●2050年までにゼロとする	CO ₂ 排出量:329千トン(2013年から23%削減)	★★	CO ₂ 排出量中長期目標(Scope1+2) ●2030年までに2013年度から50%削減 ●2050年までにゼロとする
フロン漏えい防止	トラブル等による漏えいはなく、フロン排出抑制法の報告義務未済	★★★★	フロン管理システム導入による管理強化

過去8年間の国内製造拠点のエネルギー使用量とCO₂排出量の推移



循環型社会への取組み

P	D	C	A
2021年の目標	2021年の主な実績	達成状況	2022年の目標
最終埋立処分率:0.5%以下 分別・適正廃棄の継続 リサイクルや減量化の推進	最終埋立処分率:0.12% 廃棄物内訳の精査、リサイクル促進	★★★★	最終埋立処分率:0.5%以下 分別・適正廃棄の継続 リサイクルや減量化の推進

環境負荷低減への取組み

P	D	C	A
2021年の目標	2021年の主な実績	達成状況	2022年の目標
PRTR対象物質排出量:41トン以下	PRTR対象物質排出量:47トン	★	PRTR対象物質排出量:41トン以下
環境汚染の防止:水質、大気、土壌の保全、重大環境事故ゼロ	排ガス、排水装置の適切な維持管理による重大環境事故ゼロ	★★★★	環境設備の適切な維持管理による重大環境事故ゼロ

※詳細データは、当社ホームページに掲載しています。
ホーム→サステナビリティ→RCマネジメント→RCの取組み→環境保全
https://www.toagosei.co.jp/csr/effort/rc/environmental_security.html



環境会計

コスト分類別環境投資額・費用額

環境保全コスト分類(主な取組み内容)		投資額(百万円)	費用額(百万円)
① 事業エリア内コスト		2,560	6,457
内訳	1 公害防止コスト(大気汚染防止、水質汚濁防止のためのコスト)	1,781	5,306
	2 地球環境保全コスト(地球温暖化防止、省エネルギー、オゾン層破壊防止のためのコスト)	630	752
	3 資源循環コスト(資源の効率的利用、産業廃棄物の処理・処分のためのコスト)	149	399
② 上・下流コスト(生産・サービス活動に伴い上流/下流で生じるコスト:グリーン調達等)		0	32
③ 管理活動コスト(環境マネジメントシステムの整備・運用、環境負荷の監視・測定、環境教育のためのコスト)		24	454
④ 研究開発コスト(環境保全に資する製品等の研究開発、製造段階の環境負荷抑制のためのコスト)		6	828
⑤ 社会活動コスト(自然保護・緑化等環境改善対策、環境保全団体の寄付・支援、地域住民に関係する取組みのためのコスト)		6	162
⑥ 環境損傷対応コスト(自然修復、環境保全に関する損害賠償等のためのコスト)		0	19
⑦ その他環境保全に関連するコスト		4	151
合計		2,600	8,103

- 集計対象: 下図(「事業活動と環境負荷」の項目)に掲載している会社・事業所
- 集計対象期間: 2021年1月1日から12月31日の期間
- 集計方法:

- ① 環境省環境会計ガイドライン(2005年版)を参考に作成した当社の「算出ルール」で集計しました。
- ② 環境保全目的以外のコストを含む複合コストについても、環境への影響度に応じて按分し、環境コストとして集計しています。
- ③ 投資額は予算金額、費用額は実績金額を集計しました。効果を明確に算出できるものについては、貨幣単位、物量単位で算出しました。
- ④ ただし、リスク回避や見なし効果など定量化が困難な効果は含めていません。

事業活動と環境負荷

集計対象範囲				集計期間
東亜合成グループ	東亜合成	工場	名古屋工場、横浜工場、高岡工場、徳島工場、坂出工場、大分工場、川崎工場、広野工場(福島県)	2021年1月1日から12月31日までの1年間
		研究所	R&D総合センター(愛知県)、先端科学研究所(茨城県)	
	グループ会社	アロン化成	関東工場(茨城県)、名古屋工場、ものづくりセンター(愛知県)、滋賀工場、尾道工場	

INPUT

		2020年	2021年
エネルギー使用量	エネルギー使用量(原油換算 千ℓ)	178	184
	原単位(ℓ/補正生産量千トン)	0.308	0.300

		2020年	2021年
水利用量	水資源(百万㎡)	55	57

東亜合成グループ国内生産拠点

OUTPUT

		2020年	2021年
事業活動	生産量(千トン)	1,128	1,217

		2020年	2021年
産業廃棄物	産業廃棄物発生量(トン)	65,903	65,650
	社内減量化量(トン)	48,789	47,098
	社外排出量(トン)	10,787	11,400
	最終埋立処分量(トン)	96	78
	最終埋立処分率(%)	0.15	0.12

算出に含める産業廃棄物発生量・社内減量化量の範囲を2018年に見直しました。

		2020年	2021年
水域への 環境負荷	総排水量(百万㎡)	43	44
	COD(トン)	83	73
	全窒素(トン)	29	26
	全リン(トン)	2.2	2.0
	PRTR調査対象物質(トン)	2	2

		2020年	2021年
大気への 環境負荷	CO ₂ (CO ₂ 換算、千トン)	347	329
	SOx(トン)	38	39
	NOx(トン)	76	69
	ばいじん(トン)	8	6
	PRTR調査対象物質(トン)	35	44